

第4章 市民協働と計画の進行管理

第1節 市民協働と多様な主体との連携

身近な河川の水質から地球規模の温暖化問題まで、環境に関する課題は多岐にわたっており、行政単独による解決が困難な場合があります。そういった課題の解決を図るためには、これまで組織されてきた住民自治組織や各種団体、民間企業など多様な主体と行政が共同して取り組む必要があります。

市民一人一人が、課題に向き合い解決に向けて行動すること、環境問題に主体的に取り組んでいくことが目指す環境像の実現に向けた大きな推進力となります。そのため、市民の環境問題への関心と意欲を高め、対話と相互理解を通じて本計画の将来像や基本目標を共有し、市民と行政が連携・協働しながら、目指す環境像の実現に向けた取組を推進していきます。

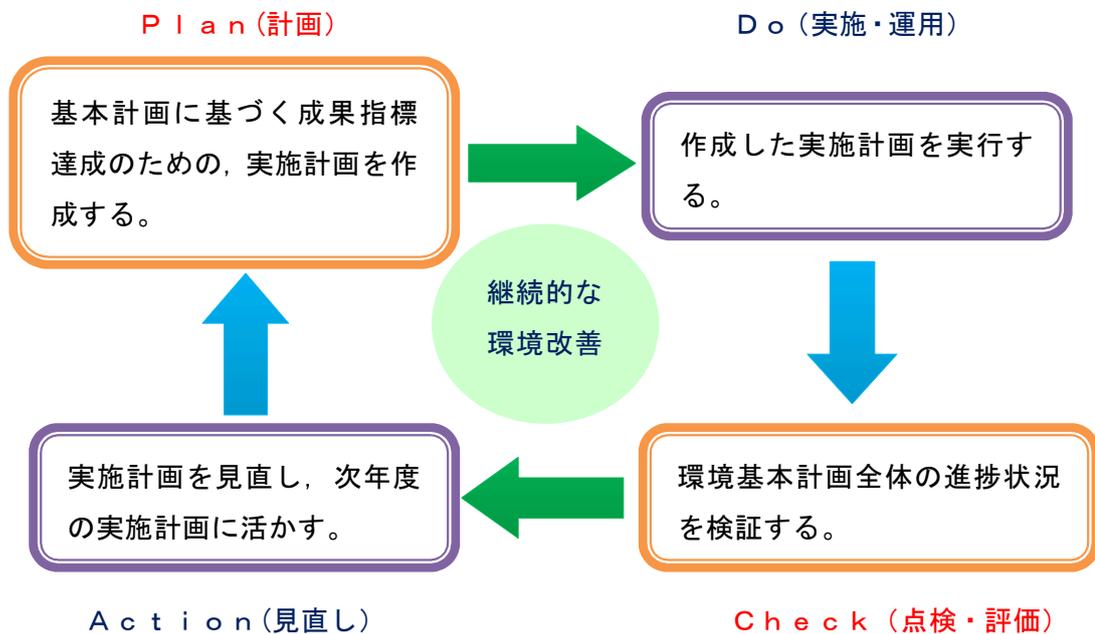
また、環境問題は、広域的な取組が必要なものも多いことから、近隣市町で連携し環境問題解決に向けた取組について連携・協力を推進します。

第2節 計画の進行管理

環境基本計画の策定後は、計画の実効性を確保していくため、環境マネジメントシステムの考え方を採り入れて、PDCAサイクルを繰り返していくことにより計画の進行管理を行います。

PDCAとは、Plan（計画）、Do（実施・運用）、Check（点検・評価）、Action（見直し）のことで、環境基本計画の進行状況を把握し、課題に対応しつつ次年度の取り組みに活かすことを繰り返しながら、継続的な改善を図ることです。

計画の進行管理に当たっては、毎年度、環境基本計画の進捗状況を取りまとめ、竹原市版の環境白書である「たけはらの環境」で公表します。



計画の進行管理（PDCAサイクル）

第3節 進行管理のための指標と目標値等

環境基本計画の進行状況を評価するための指標及び目標値等を、下表のように設定します。計画策定後は、目標値等の達成に向けて取り組みを進めていきます。

なお、表中で「現状と同等以上」とは、現状と同等であるか、現状より改善することを意味します。

計画の進行管理のための指標

環境区分	項目（指標）	現状（平成30年度）	目標値等	備考
生活環境	賀茂川の水質	環境基準に適合	環境基準に適合するとともに、現状と同等以上の状態を維持する。	環境基準値 BOD 2mg/L以下
	燧灘北西部の水質	環境基準に適合	環境基準に適合するとともに、現状と同等以上の状態を維持する。	環境基準値 COD 2mg/L以下
	土壌のダイオキシン	環境基準に適合	環境基準に適合するとともに、現状と同等以上の状態を維持する。	環境基準値 1000pg-TEQ/g以下
	光化学オキシダント	環境基準を超過	現状の改善に向けて取り組む。	環境基準値 0.06ppm以下
	浄化槽法定検査受検率	60.0%（平成31年3月末）	令和12年度：76.4%	
自然環境	有害鳥獣捕獲件数	1,065件	令和12年度：1,120件	
	大久野島への来島者数	288,674人	令和12年度：333,950人	
	清掃ボランティア実施件数	57件	令和12年度：65件	
快適環境	一人一日当たりのごみ排出量	916g/人・日	令和12年度：869g/人・日	
	一般廃棄物のリサイクル率	11.7%	26.0%	
	不法投棄件数	9件	令和12年度3件以下を目標に、着実な減少を図る。	総合計画の目標値
	環境・道路交通騒音（沿道地域）	測定地点のうち1地点（国道2号道路端）を除いて環境基準に適合	環境基準に適合している地点は、現状と同等以上の状態を維持し、基準値を超過	

環境区分	項目（指標）	現状（平成 30 年度）	目標値等	備考
			した地点は、現状の改善に向けて取り組む。	
地球環境	環境学習教材の作成	—	環境学習教材を作成する。	
	公共施設の二酸化炭素排出量	258.6t	令和 12 年度：230.2t	